

第2回運営幹事会議事録

作井技術委員会 事務局

平成26年7月29日(火)16:00-17:45

開催場所:石油資源開発(株)1905会議室

出席者:武村、戸田、日野、池田、浦野、尾上、古谷、長縄、前田、片岡(10名)

欠席者:田村、佐藤、福嶋(直)

議題1:平成26年度 春季講演会の総括

1) 協会誌投稿促進のための個人講演評価結果と選出

- 討議の結果、(3), (6), (10), (16), (18) の5件を推薦することに決定。
- (8)学生「優秀発表賞」の講評は6/24に事務局に提出済み。
- 早稲田大学森田先生には、これまでに発表された非弾性域強度を用いた引張り、圧潰デザインの考え方を含め、ケーシングデザインを総括した内容の論文の上梓をお勧め(お願い)してみる。

2) シンポジウム講演の協会誌掲載原稿の執筆依頼および提出状況

- 7月末〆切で事務局日野より原稿依頼(6/24)
- JDC 疋田氏セッション4原稿提出(7/15), INPEX 浦野氏セッション1原稿はほぼ完成。
- セッション1~5は互いに内容が関連しているため、執筆者は他執筆者の原稿を読み全体を把握した方が、内容の整合性が図れ、過度の重複を防ぐことができる。
 - ◇ 事務局から受領原稿を各執筆者に送付し、内容を確認してもらう。
- 原稿の締切日8/15に延長する。

3) シンポジウム講演の協会誌掲載原稿の査読、討論録について

- 5セッションの原稿、討論録を通して査読を行い、用語の統一や全体の整合性を図る。
 - ◇ 執筆者以外のシンポジウム準備チームメンバーが中心となり査読チームを結成し、セッション1~5まで通して査読する。JAPEX, INPEX, JDC(MQJ)から各1名査読者を選出する。
 - ◇ 当技術委員会代表として日野が9月の編集委員会に出席し、チームで査読を実施する旨、報告する。
- ※ 上記に関して、日野は9月の編集委員会に参加不可能となったため、報告は牟田が代理で行う。
- 討論録を各セッション毎に分割するか最後にまとめて入れるかは、査読チームでセッション1~5の査読終了後、実際に討論録を入れて比較して意見を集約する。
- 討論録の菅野氏発言箇所はそのまま記載すると問題になるので、表現を例えば伝聞情報のように一部修正するとともに、菅野氏を含めた準備チームメンバーの発言は一纏めに〈準備チーム〉とする。他、会場からの発言等は発言者名を記載する。

議題 2:各分科会活動報告

- 1) 大水深掘削技術分科会
 - 7月の分科会会合概要と、古谷昭人氏から前田啓彰氏への座長交代の報告がなされた。
- 2) HSQE 分科会の廃止について
 - 提案どおり廃止が決議された。

議題 3:平成 26 年度作井技術委員会の活動計画の審議

- 1) 活動方針(案)

原案どおり承認された。9月の第1回作井技術委員会に諮ることとなった。
- 2) 運営幹事および委員の異動(案)
 - 配布資料の委員(案)を事務局より説明(斜字体の2名は就任可否未確認一帝削菊池氏については交代選定を含め INPEX で確認・調整をする。)
 - 他、JAPT 事務局より賛助会員の日本バルカー1名参加希望ある旨連絡あり。
INPEX より異業種交流会の関係でダイキン工業1名の推薦あり。
⇒両名とも委員として受け入れる方針で対応する。
- 3) 年間スケジュール(案)
 - 第1回作井技術委員会は、9/16, 17, 22, 24のいずれかに開催予定。
 - H27 6月の春季講演会(東京代々木)は、第2週(6/8からの週)の可能性大。
- 4) 活動費予算(案)
 - 提案どおり承認された。
- 5) 第一回作井技術委員会(9月予定)での特別講演

以下のような提案があった。追加情報を入手した後、日程等を勘案して決定する。

 - ヒューマンファクター関連の講演に関して、
 - ◇ JAPEX:社内導入実績の話であれば HSE 統括部古賀氏が対応可能。
 - ◇ INPEX:異業種(日揮、帝人、ダイキン...)に依頼可能か打診してみる。
 - ◇ JDC:JIHF 塚原氏に費用を含め打診してみる。新日鉄住金の危険体験訓練コース。
 - その他の講演案
 - ◇ 長縄幹事:地熱の話が出来るか思案中。
 - ◇ JAPEX:環境対策検討を含めた国内(福米沢)タイトオイルの話なら対応可。

※ 各社の都合を伺った結果、新日鉄住金エンジニアリングに講演依頼を出すことを決定。
- 6) 異業種を含めた情報交換会の継続について
 - 昨年度2回の開催で、所期の目的は達したので、継続はせず打ち切ることとする。石油開発業界と異業種間の交流は JOGMEC 技術ソリューション事業での引き継ぎを期待。

議題 4:報告事項

1) 理事会(6月19日)報告

- 編集委員会内規と投稿要領の一部改訂
- 平成26年度秋季講演会－10月30日 東大小柴ホール
テーマ:「エネルギー確保の多様化と新技術」(仮題)

2) 80周年記念出版(石油鉱業便覧)について－池田・浦野

- 作井部門の作業は既に終了。8月中に発刊予定。
- 最終的に予算より頁数が増加し900ページ超になった。作井は予算どおりの頁数に抑えた。
8月31日まで事前予約可能。

3) ホームページ委員会委員は浦野幹事から片岡事務局へ引き継いだ。

以上